

2022年11月15日

各位

沖縄県労働金庫

観光業をつつむ共助の「輪」支援策に係る モノレール遠足の実施について

沖縄県労働金庫（理事長 高良恵一）は、新型コロナウイルス感染症によって人の往来が減り影響を受ける観光業への支援や、外出自粛要請で運動会等の行事が中止となった影響を受ける子ども達の笑顔のために、モノレール、観光バスを利用した遠足を会員団体所属の保育園・こども園に提供する「観光業をつつむ共助の『輪』支援策」を実施しております。本取り組みは、11月から12月にかけて、7団体（モノレール運行数：7編成、バス運行数：14台）の遠足を催行いたします。

去る11月10日（木）は、愛善保育園（愛善保育園、新城 加代子園長）の園児46名が、観光バスにて那覇空港駅まで移動し、ゆいレールポケモン号の貸切列車にて那覇空港駅～てだこ浦西駅の往復約2時間（てだこ浦西駅停車36分含む）のモノレール遠足を楽しみました。

運行中はモノレールから外の景色を眺めるほか、マジシャンによるマジックショーも開催され、子ども達は大変楽しんでいる様子でした。昼食は各自が持参したお弁当をモノレール車両内にて食べ、非日常の体験が味わえました。

支援策に係るツアーの企画やモノレール、観光バスの運行を当金庫会員所属企業とし、助け合い・支え合いの気持ちがこもった資金を沖縄県内で循環させ、共感・共助の輪を広げ、福祉金融機関として機能を発揮してまいります。

記

愛善保育園（宜野湾市）のモノレール遠足の様子（2022年11月10日）



モノレール車両内にて出発式の様子

左側：愛善保育園 新城 加代子園長、右側：沖縄県労働金庫 高良 恵一理事長



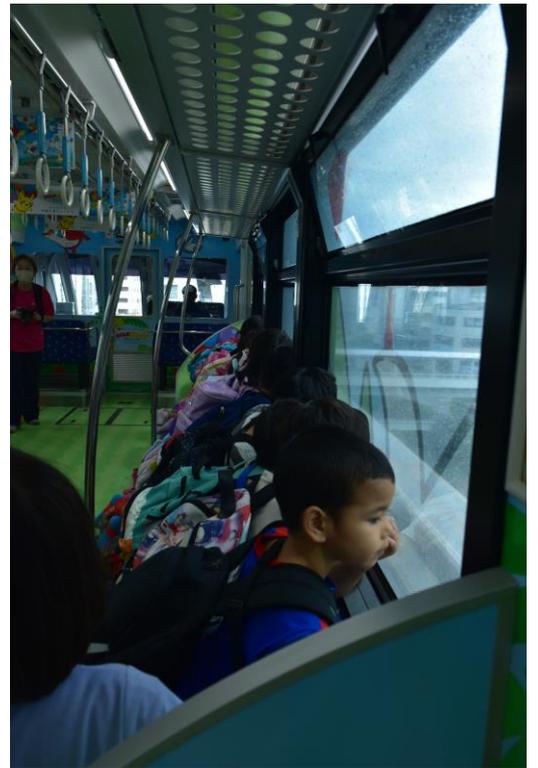
↑外の景色を眺める子どもたちの様子 →



↑マジックショーを楽しむ子どもたちの様子



↑車両内にて昼食休憩



以上

【 本件に関するお問合せ先 】
沖縄県労働金庫 経営統括部
経営企画課 担当：知花
TEL：098-861-1196